ホームページ紹介

外国にルーツをもつ児童生徒への支援・指導に役立つホームページを紹介させていただきます。
ぜひ、ご活用ください。

○ 「外国人児童生徒受入れの手引 改訂版」
【文部科学省】

○ 「かすたねっと」
【文部科学省】

○ 「外国人児童生徒等教育に関する動画コンテンツ」
【文部科学省】

○ 「DLA（外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント）」
【文部科学省】

○ 「ぐんまの外国につながる子供たちの学び応援サイト ハーモニー」
【群馬県総合教育センター】

○ 日本語指導ハンドブック
【東京都教育委員会】

○ 外国人児童生徒教育資料
【豊橋市教育委員会】

○ 岩倉市日本語適応指導教室
【岩倉市教育委員会】

○ 外国人児童生徒指導資料
【愛知県教育委員会】

○ 「やさしい日本語」の手引き
【愛知県社会活動推進課多文化共生推進室】

○ 母語教育サポートブック『KOTOBA』
【愛知県社会活動推進課多文化共生推進室】

○ 外国人児童生徒支援
【愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム】

○ 民間団体検索
【公益財団法人愛知県国際交流協会】

事例集「はじめの一歩」を御活用いただき、誠にありがとうございます。
この事例集を、さらにより良いものにしていくため、現在紹介している Web サイトのリンク切れや、掲載するとよい Web サイトの紹介、愛知県内の小中学校等が参考にできる事例の紹介等がございましたら、右の二次元コードから御連絡をお願いいたします。

愛知県教育委員会 義務教育課

パンフレット版

参考資料

外国にルーツをもつ児童生徒 受入れ・共生のための はじめの一歩

愛知県では、外国にルーツをもつ児童生徒が増加傾向にあります。
児童生徒の使用言語も多様化し、集住地域だけでなく、これまで外国人児童生徒等がいなかった地域にも、新たに編入・転入するケースが増えています。
外国人児童生徒等を学校に迎えることは、在籍する児童生徒や、先生方が多様な価値観や文化を知り、大きく成長できるチャンスです。

県内の小中学校では、外国にルーツをもつ児童生徒への支援・指導を進めるために、さまざまな工夫を行っています。事例集「はじめの一歩」には、外国にルーツをもつ児童生徒・保護者に対する21例の取組事例を掲載しました。

パンフレット版「はじめの一歩」は、外国にルーツをもつ児童生徒を迎え入れる際の、様々な疑問を取り上げ、その解決に向けたヒントをまとめた事例集「はじめの一歩」につなぐことをねらいとしています。
初めて外国にルーツをもつ児童生徒を迎え入れる先生方はもちろん、これまで支援・指導にあたってきた先生方にも、ぜひ手に取っていただき、支援・指導の在り方について、考えを広げたり、深めたりしていただきたいと思います。

愛知県義務教育問題研究協議会
愛 知 県 教 育 委 員 会
令和6年3月

受入れ準備

外国人児童生徒を受け入れる体制づくりは、どのように進めればよいですか？
また、担任や日本語指導担当には、それぞれどのような準備が必要ですか？

市の教育委員会から、教務主任に外国人児童編入の連絡がありました。
小学校４年生の児童が、外国からやって来ますが、本人も保護者も、日本に来たばかりで全く日本語が話せないそうです。
本校は外国人児童を受け入れたことがなく、まだ受入れ体制ができていません。

事例１　受入れ体制づくり

学校全体として、どのような準備が必要ですか？

こんなことをやってみました

教職員が自分の役割を認識し、連携して取り組みました。

事例集７ページ

事例２　担任の準備

担任として、どのような準備が必要ですか？

こんなことをやってみました

学校生活初日の出会いを大切にするために準備を進めました。

事例集８ページ

詳しい内容を知りたいときは、
二次元コードか検索ボタンから
事例集にジャンプしてください。

事例３　日本語指導担当の準備

日本語指導担当として、どのような準備が必要ですか？

こんなことをやってみました

日本語指導を行う環境を整えました。

事例集９ページ

外国人児童生徒受入れ参考リンク

・「外国人児童生徒受入れの手引　改訂版」
【文部科学省】
○ 外国人児童生徒を円滑に受入れ、教育活動を展開するうえで参考になる資料

・「相談員のための多文化ハンドブック
=子どもの教育　編=」
【公益財団法人　愛知県国際交流協会】
○ さまざまな国の学校制度等を紹介する、外国人児童生徒の文化的な背景を理解するうえで参考になる資料

共生・アイデンティティー

外国人児童生徒の居場所づくり絆づくりを進めていくためには、どのようなことが必要ですか？

事例１７　家庭内でのコミュニケーション

小学校５年生のＡさん（３年前に編入・外国と日本のダブル国籍、家庭ではカタコトの日本語で会話）の保護者から「子供は日本語を話せるようになってきたが、母語を忘れてきているため、家庭内での親子の深いコミュニケーションが難しくなっている」と相談を受けました。
児童や保護者に、どのような働きかけが必要ですか？

こんなことをやってみました

母語相談員に面談に入ってもらい、保護者と児童が抱えている悩みを把握しました。

事例集２７ページ

事例１８　悩み相談

中学校２年生のＡさん（９月編入）についてです。編入後、しばらくは周りの生徒が話しかけ、友達の輪の中にいる姿がみられました。しかし、３ヶ月ほど経った現在は、一人でいることが多いようです。さまざまな教員が、「大丈夫？」と声をかけると、「はい、大丈夫」と言うものの、表情は暗いままです。
本人や周りの生徒に、どのような支援・指導を行えばよいですか？

こんなことをやってみました

母語相談を行い、思いを聞き取りました。

事例集２８ページ

事例１９　学級での関係づくり

中学校１年生のＡさん（９月編入・ひらがなを読むことができるが意味の理解はできていない）に対して、受入れ側の生徒も話をしたいが、話をすることができず困っています。
Ａさんが周りの生徒との関係を築くために、どのような支援を行えばよいですか？

こんなことをやってみました

生活の中で楽しく関係性を育むために意図的に言語以外の関わりを設けました。

事例集２９ページ

事例２０　友達とのトラブル

小学校５年生のＡさん（４年秋編入、単語１～２個をつなげて話す程度の日本語を習得）がきっかけとなるトラブルが多く、毎日周りの児童が苦情を訴えます。このままＡさんが自分の気持ちを表現することができずに手を出してしまう状況が続き、大きなトラブルになってしまうことが心配です。
Ａさんや周りの児童に、どのような支援・指導を行えばよいですか？

こんなことをやってみました

児童Ａの母語で思いを聞き取り、周りの児童の対応改善を図りました。

事例集３０ページ

事例２１　アイデンティティーを確立する

小学校６年生のＡさん（日本生まれ、日本育ちの外国籍）についてです。就学前から日本人の子供たちと教育を受けてきたため、言語の不自由さは感じていませんでした。しかし、自分の母国に自信をもつことができないため、自分の大切なルーツを隠してしまう傾向があります。
本人がアイデンティティーを確立するためには、どのような支援・指導が必要ですか？

こんなことをやってみました

ワールドウィークを行いました。

事例集３１ページ

保護者との連携

保護者の理解と協力を得ながら教育活動を進めていくうえで、どのようなことに気を付ければよいですか？

事例 14　家庭との連絡方法

小学校４年生のＡさん（編入後３か月経過・挨拶程度の日本語を習得）の保護者に連絡をしても、なかなか電話に出てもらえません。電話がつながっても、言葉の壁があり、伝えたいことがうまく伝わりません。普段はもちろんですが、緊急連絡時が心配です。

保護者と連絡を取り合うよい方法はありませんか？

こんなことをやってみました

保護者に連絡方法を選択してもらい、言葉の壁を低くする工夫をしました。

事例集２４ページ

事例 15　保護者の学校参加

中学校２年生のＡさん（編入後１年経過）は、すっかり日本の学校に慣れ、生き生きと生活しています。しかし、日曜日の授業参観や体育祭に保護者が参加してくれないため、寂しい思いをしています。

保護者の方に学校行事等に参加してもらうためには、どのような言葉がけが必要ですか？

こんなことをやってみました

なぜ参加できなのか、文化的背景に目を向けたうえで対応を行いました。

事例集２５ページ

事例 16　進路相談の進め方

進路相談を進めていますが、中学校２年生のＡさんも保護者も具体的な進路を思い描くことができません。

どのように進路相談を行う必要がありますか？

また、外国にルーツをもつ生徒の進路選択について、具体的な事例を紹介したくても情報がありません。どうすれば情報を得ることができますか？

こんなことをやってみました

日本の教育制度を説明したり、外部の団体と連携して情報を集めたりしました。

事例集２６ページ

保護者へのお知らせ参考リンク

・『学校からのお知らせ「やさしい日本語」例文集』
【熊本市外国人総合相談プラザ】
○ 学校から家庭への文書(「入学式の案内」「修学旅行のお知らせ」等)の文例を、やさしい日本語で紹介

・『多言語用語集』
【熊本市外国人総合相談プラザ】
○ 学校でよく使われる単語を、やさしい日本語、英語、簡体字、繁体字、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語で紹介

編入・転入時の面談

受入れ時の面談は、どのようなことに気を付ければよいですか？

事例４　面談で聞き取ること

外国より、小学校３年生に編入があります。児童はもちろん、保護者も全く日本語が話せません。

受入れ時の面談では、何をどのように聞き取ることが大切ですか？

こんなことをやってみました

聞き取りシート等を活用し、温かい雰囲気で面談を行いました。

事例集１１ページ

事例５　面談で伝えること

外国より、中学校２年生に編入があります。本人はもちろん、保護者も日本語が話せません。また、初めての日本の学校ということで、日本の中学校のことを全く知りません。

面談では、何をどのように伝えればよいですか？

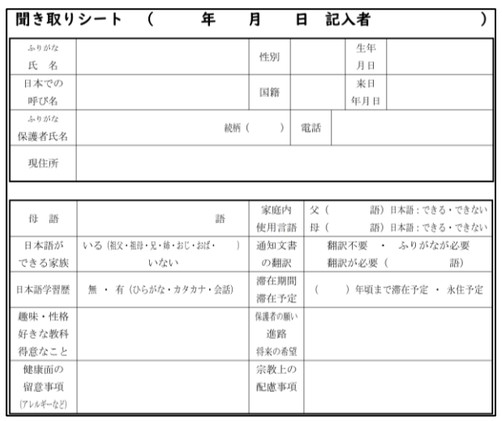
こんなことをやってみました

画像や映像で学校の様子を伝えました。

事例集１２ページ

面談時　便利シート

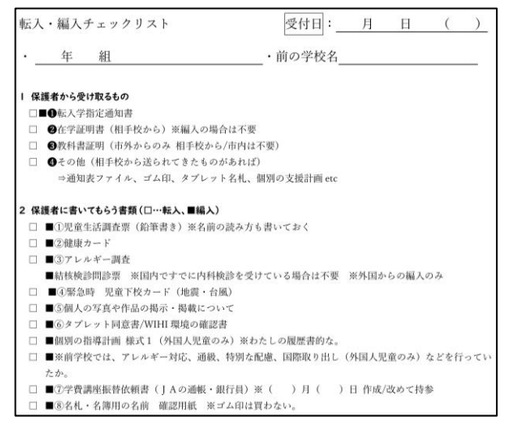
【下記の文書データをダウンロードして活用してください。】



聞き取りシート　（　　年　　月　　日　記入者　　）

ふりがな 氏名		性別		生年月日	
日本での呼び名		国籍		来日年月日	
ふりがな 保護者氏名		続柄（　　）	電話		
現住所					

母語	語	家庭内使用言語	父（　　語）日本語：できる・できない 母（　　語）日本語：できる・できない
日本語ができる家族	いる（祖父・祖母・兄・姉・おじ・おば・　　） いない	通知文書の翻訳	翻訳不要　・　ふりがなが必要 翻訳が必要（　　語）
日本語学習歴	無　・　有（ひらがな・カタカナ・会話）	滞在期間 滞在予定	（　　）年頃まで滞在予定　・　永住予定
趣味・性格 好きな教科 得意なこと		保護者の願い 進路 将来の希望	
健康面の留意事項 （アレルギーなど）		宗教上の配慮事項	



転入・編入チェックリスト　　受付日：　　月　　日　（　　）

・　　年　　組　　・前の学校名

1　保護者から受け取るもの
□ ■❶転入学指定通知書
□ ❷在学証明書（相手校から）※編入の場合は不要
□ ❸教科書証明（市外からのみ 相手校から/市内は不要）
□ ❹その他（相手校から送られてきたものがあれば）
⇒通知表ファイル、ゴム印、タブレット名札、個別の支援計画 etc

2　保護者に書いてもらう書類（□…転入、■編入）
□ ■①児童生活調査票（給筆書き）※名前の読み方も書いておく
□ ■②健康カード
□ ■③アレルギー調査
■結核検診問診票　※国内ですでに内科検診を受けている場合は不要　※外国からの編入のみ
□ ■④緊急時　児童下校カード（地震・台風）
□ ■⑤個人の写真や作品の掲示・掲載について
□ ■⑥タブレット同意書/WIHI 環境の確認書
□ ■個別の指導計画 様式１（外国人児童のみ）※わたしの履歴書的な。
□ ■※前学校では、アレルギー対応、通級、特別な配慮、国際取り出し（外国人児童のみ）などを行っていたか。
□ ■⑦学費講座振替依頼書（ＪＡの通帳・銀行員）※（　）月（　）日 作成/改めて持参
□ ■名札・名簿用の名前　確認用紙　※ゴム印は買わない。

「聞き取りシート」
面談時に聞き取る内容をまとめたシート
【word データ（A4　1枚）】

「転入・編入チェックリスト」
面談時に行うことのチェックリスト
【word データ（A4　2枚）】

日本語指導・教科指導

どのような体制で、どのような内容の日本語指導を行えばよいですか？

事例６　日本語指導教室の運営

来日して間もない中学校２年生のＡさんのために、持ち時間の少ない何人かの教員が日本語指導担当として指導に当たっています。複数名で指導を行っているため、同一の指導が難しい状態です。日本語指導を担当する教員たちも「何をしたらいいの？」と不安を抱えています。

連携して指導を進めていくためには、どのようにすればよいですか？

こんなことをやってみました

日本語指導用交換ファイルを作り、活用しました。

事例集１４ページ

事例７　日本語指導の内容

勤務する小学校には、日本語の習得状況や年齢が異なる複数の外国人児童が在籍しています。

どのような内容の日本語指導を行えばよいですか？

こんなことをやってみました

在籍期間や日本語習得状況等を考慮し、一人一人に合った学習内容を指導しました。

事例集１６ページ

事例８　教科の学習等での支援

小学校３年生のＡさん（外国籍）は、日常会話に支障がなく、友達と仲良く遊んでいるため、問題がないように見えます。しかし、教科の学習で読んだり書いたりすることが苦手で、授業も理解できていないようです。

どのような支援・指導を進めればよいですか？

こんなことをやってみました

教材を工夫したり、日常生活で日本語に触れる機会を多く設定したりしました。

事例集１７ページ

事例９　日本語学習の大切さ

小学校５年生のＡさん（２年生時に編入・本校で３年経過）についてです。５年生になって、日常のコミュニケーションがとれるようになってきたため、本人としては日本語学習の必要性を感じていません。

日本語学習の大切さを伝えるためには、どのようにすればよいですか？

こんなことをやってみました

日本語指導担当として児童の「話す・読む・書く・聴く」の力を見立てました。

事例集１８ページ

日本語が理解できていない児童生徒に、どのように教科指導を進めていけばよいですか？

事例１０　在籍学級での授業

小学校４年生のＡさん（編入後３か月経過）についてです。取り出しで授業を行っていますが、体育や図工、音楽等については、在籍学級で授業を受けています。しかし、在籍学級の授業では、言葉の問題もあり、理解できない様子です。

どのように授業を進めていけばよいですか？

こんなことをやってみました

活躍できる場を授業の中に設定しました。

事例集１９ページ

事例１１　授業に参加するための支援

中学校２年生のＡさん（編入後３か月経過）についてです。中学校１年生までの学習内容については母国で習得してきていますが、言葉の壁があり、授業に参加したくても参加できない状況です。

授業に参加できるようにするためには、どのような支援が必要ですか？

こんなことをやってみました

母語で学習した内容が生かせるように、支援員や教員がチームで対応しました。

事例集２０ページ

事例１２　学習意欲を向上させる支援

小学校５年生のＡさん（４年時編入・日常会話程度の日本語）についてです。子供同士でコミュニケーションはとれていますが、在籍学級での教科学習内容の理解が難しくて授業に集中できていません。そのため、授業中に寝てしまうことがあったり、欠席が増えたりしています。

前向きに学習に取り組むためには、どのような指導・支援が必要ですか？

こんなことをやってみました

教職員が連携し、意欲的に取り組める環境等を整えました。

事例集２１ページ

事例１３　特別支援教育

小学校５年生Ａさん（外国籍・８歳で来日）が転入してきました。Ａさんは、両親の仕事の関係で２回の国内転居をしており、本校は３校目になります。簡単な日常会話はできます（家庭では母語で会話）。初めの２週間は落ち着いていましたが、他の児童とのトラブルや、学習に対する後ろ向きな姿が目立つようになりました。

Ａさんが抱えている課題は、発達の特性によるものだと感じています。どのように支援・指導を進めればよいですか？

こんなことをやってみました

まずは児童の困り感を把握しました。

事例集２２ページ